

更新年月日	更新内容	備考
2024年11月28日	(別紙)評価項目一覧 4.1.4 誤記修正 【修正前】データベースシステム 【修正後】ウェブアプリケーションシステム	

V. 評価項目一覧

入札件名:「脆弱性関連システム JVN iPedia/MyJVNの機能拡張」

提案書の目次			評価区分	提案書 ページ番号	遵守 確認欄	A	B	C	D	配点	
大項目	中項目	小項目									
1. 全体方針											
1.1 開発プロセス											
	1.1.1	開発業務の範囲について、「1.4 作業内容・納入物件」に記載している項目を一括して受託すること(部分についての提案は認めない)	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	1.1.2	全体プロセスの特徴、本件に採用した理由は明確かつ適切であるか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。本件の状況を考慮して、開発プロセスに独自のカスタマイズがかけられているなど、本件に適用する理由と効果が明確になっている。	5 全体プロセスの特徴が記載されている。社内規準あるいは業界規準に準拠している。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	1.1.3	開発手法やテスト方法は具体的かつ実行可能であるか。採用するプロジェクト管理ツールや開発支援ツールは適切であるか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。選択された開発手法・テスト方法に合わせてプロジェクト管理ツールや開発支援ツールが仮定され、その選択理由や効果、選択したツールの導入実績についても説明されている。	5 本件の特徴を考慮して、採用する開発手法・テスト方法が選択されており、具体的かつ実行可能な内容となっている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
2. 情報システムの機能等に関する要件の実現方策											
2.1 機能要件											
	2.1.1	Ⅲ 仕様書に記載された機能要件を全て実現すること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
Ⅲ仕様書「2.2 情報システムの機能等に関する要件」 【2】SBOM活用基盤の整備											
	2.1.2	【2-2】SBOMに対応した製品識別子の登録機能の追加 複数製品の複数製品識別子の一括登録について、インポート用のCSVファイルを作成する上で運用効率を考慮した提案がされているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、提案内容が卓越(より大きな運用負荷軽減が期待できる等)している。	5 具体的なOSVファイルの記述例が提案されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	2.1.3	【2-6】MyJVN脆弱性対策情報フィルタリングツール(mjcheck4)の改善 mjcheck5の開発について、ダッシュボードの出力内容が提案されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、具体的なダッシュボードの出力イメージが提案されている。	5 仕様書に記載した情報例以外が提案されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	2.1.4	【2-6】MyJVN脆弱性対策情報フィルタリングツール(mjcheck4)の改善 mjcheck5の開発について、グループ一覧画面をトップ画面に統合する案が提案されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、ダッシュボードやMyJVN APIの動作検証を行えるインターフェース等の新機能に対するトップ画面からの表示フローが提案されている。	5 具体的な統合した際のトップ画面イメージが提案されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
Ⅲ仕様書「2.2 情報システムの機能等に関する要件」 【3】利用者・運用者向けの機能・不具合改善											
	2.1.5	【3-3】利用者・運用者向け機能改善 MyJVN登録システムのRSSの作成・更新機能を追加について、RSS作成フローが提案されていること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
Ⅲ仕様書「2.2 情報システムの機能等に関する要件」 【4】インフラ環境のクラウド移行											
	2.1.6	【4-1】システム構成 移行先のクラウドについて、推奨するサービス名が提案されていること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	2.1.7	【4-2】サーバ構成および機能 IDS・IPS、WAFについて、誤検知を考慮したポリシーのチューニングを行うためのアプローチが提案されていること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	2.1.8	【4-5】その他 クラウドの利用コストについて、低減するためのアプローチが提案されていること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
3. ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標											
3.1 ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標											
	3.1.1	ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、次世代育成支援対策推進法、青少年の雇用の促進等に関する法律等に基づく認定等の状況)	任意			①企業として、以下のいずれかに該当するワーク・ライフ・バランスの取組を推進しているか。 ①女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく認定(えるほし認定企業・プラチナえるほし認定企業) ②次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づく認定(くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)					8
4. プロジェクト計画案											
4.1 実施体制											
	4.1.1	体制図は十分に詳細化され、開発、工程管理、品質保証、セキュリティ対策等の活動を適切に実施できるよう、役割・責任が明記されていること。 プロジェクトメンバーは、本件実施に十分な経験を持つことが説明されていること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	4.1.2	プロジェクトメンバーの中にソフトウェアの脆弱性について十分な知識を有しており、SCAPを理解している要員が含まれているか。(ヒアリングと合わせて評価を実施する場合有)	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、その経験が充実している。	5 ソフトウェアの脆弱性およびSCAPの適用/応用に係る実務を経験している。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.1.3	プロジェクトメンバーの中にPython言語を用いたウェブアプリケーションの開発に携った経験のある要員が含まれているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、その経験が充実している。	5 Python言語を用いたウェブアプリケーションの開発に携った経験の要員が複数人含まれている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.1.4	プロジェクトメンバーの中にウェブアプリケーションシステムの開発に携った経験のある要員が含まれているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、その経験が充実している。	5 ウェブアプリケーションシステムの開発に携った経験の要員が複数人含まれている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.1.5	プロジェクトメンバーの中にデータベースシステムの開発に携った経験のある要員が含まれているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、その経験が充実している。	5 データベースシステムの開発に携った経験の要員が複数人含まれている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.1.6	プロジェクトメンバーの中にクライアントサーバーシステムの開発に携った経験のある要員が含まれているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、その経験が充実している。	5 クライアントサーバーシステムの開発に携った経験の要員が複数人含まれている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.1.7	プロジェクトメンバーの中にクラウドシステムの構築に携った経験のある要員が含まれているか。	必須			10 右記Bの基準を満たし、かつ、パブリッククラウド提供ベンダーによる認定資格を有するプロジェクトメンバーが体制内に含まれる。	5 クラウドシステムの構築に携った経験の要員が複数人含まれている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.1.8	コミュニケーション計画及びプロジェクトの意思決定手順が示されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。対象者の具体的な役割などに基づいて記載されている。	5 適切なコミュニケーション計画及びプロジェクトの意思決定手順が記載されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10

提案書の目次			評価項目	評価区分	提案書 ページ番号	遵守 確認欄					配点
大項目	中項目	小項目					A	B	C	D	
	4.1.9	以下の資料が提出されていること。 ・情報管理に対する社内規則等(社内規則がない場合は代わりとなるもの。)	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
4.2 プロジェクトマネージャのスキル(必要に応じてヒアリングと合わせて評価を実施する)											
	4.2.1	システム開発経験:プロジェクトマネージャーは、本件システムと同等規模(利用ユーザー数、トランザクション数、要求される信頼性等)のシステムの開発・運用をどれくらい実施した経験があるか。 プロジェクト経験については、成功したプロジェクトのみが記述されているか。また、その際、プロジェクトの成功を証明する資料を添付されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 プレゼンテーションを通じて、自分のシステム開発に関する能力(知識・スキル・経験)を本プロジェクトで発揮できることを示している。	5 プロジェクトマネージャーは本件システムと同等規模のシステム開発プロジェクトの経験を5年以上有している。 プロジェクトマネージャーは、それらのプロジェクトの成功に貢献したポイントを提示している。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.2.2	プロジェクトマネージャーは、PMBOK・EVMに基づいたプロジェクト管理の経験をどれくらい有しているか。 プロジェクト経験については、成功したプロジェクトのみが記述されているか。また、その際、プロジェクトの成功を証明する資料を添付されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 プレゼンテーション/質疑応答を通じて、自分のPMBOK・EVMに関する能力(知識・スキル・経験)を發揮している。 プレゼンテーション/質疑応答を通じて、自分のプレゼンテーション力・質問対応力・課題に対する対応策を立案していく能力等を發揮している。	5 プロジェクトマネージャーはPMBOK・EVMに基づいたプロジェクト管理の経験を一通り(計画、実行、評価、改善)有していることが示されている。 プロジェクトマネージャーは、それらのプロジェクトマネジメントを成功させたことを提示している。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.2.3	プロジェクトマネージャーは、本プロジェクトのポイントを明確に説明できるか。その内容は適切か。 プロジェクトマネージャーは、本プロジェクトにおける成功要因及びリスクを把握できているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 プレゼンテーション/質疑応答を通じて、自分のプロジェクトの深い理解度を發揮している。	5 提案書の中で、本プロジェクトのポイント・成功要因・リスクを端的に説明している。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
4.3 工程計画(資源・工数・要員などの計画を含む)											
	4.3.1	WBS単位にスケジュールが作成されていること。 作業項目の順序や依存関係は明確かつ適切に設定されていること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	4.3.2	WBS構造は発注者から提示された「WBSレベル」にしたがって設定されているか。 WBSは適切な単位のWPIに分割されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 WBSは適切な単位のWPIに分割されており、かつ、詳細化が必要な部分については、適切なレベルで詳細化を行っている。	5 発注者から提示された「WBSレベル」にしたがってWBSが作成されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.3.3	WBS単位でコスト(または工数)が明記されているか。 コスト全体に対する各WBSの配分は適切であり、また、リスクに応じたリザーブを適切に見込んでいるか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 算出されたコストは、作業工数×人月単価によって、正確に見積もっている。	5 WBS単位でコスト(または工数)が明記され、配分は適切である。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
4.4 工程管理計画(WBSディクショナリ)											
	4.4.1	計測規準(進捗評価基準)の考え方が示されているか。その内容は適切か。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 作成終了をもって完了とせず、レビューや検証、検査に要する工程を見込んでいる。	5 成果物の種類ごとに、計測基準が定められている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.4.2	WBS単位の成果物は明確かつ適切に設定されているか。 成果物の記載内容が定義され、サンプル成果物などが具体的に示されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 WBS単位の成果物に、納入物件以外の中間成果物等が適切に設定されている。	5 WBS単位の成果物は、少なくとも納入物件について明確に設定されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
4.5 ドキュメント一覧											
	4.5.1	納入物以外のドキュメント、管理台帳、連絡票などについて、網羅的に記述されていること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
4.6 品質保証計画											
	4.6.1	品質管理に必要と思われる体制、活動内容は具体的かつ実現可能であること。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	4.6.2	ドキュメント作成基準について、様式、書き方などの考え方が示されているか。当該基準は全社的(あるいはそれに匹敵する規模の組織、例えば事業所、事業部などにおける)基準に基づき、統一したものか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 社内規準などに基づき、雛形、作成基準が具体的に示されている。	5 ドキュメントの作成基準についての考え方が記載され、本プロジェクトのみに有効ではないことが示されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.6.3	ドキュメントレビュー計画について、適切に詳細化されているか。 作成担当部門による自己評価のみで終わってしまうことはないか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 社内規準などに基づいて、担当部署・グループ内でのレビューだけでなく、品質管理部門あるいは社外コンサルタントのレビューを受けることとなっているか。 基準には、レビュー結果の様式、機能分割の適切性の観点が含まれているか。	5 ドキュメントのレビュー計画について、体制、コミュニケーション計画に記載されている内容が詳細化され、レビュー手順の考え方が記載されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.6.4	ソースコードレビュー計画について、適切に詳細化されているか。 作成担当部門による自己評価のみで終わってしまうことはないか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 次の項目がレビュー観点に含まれている。 1)ソースコードの可読性(複雑度)を適切と判断する定量的な基準 2)エラー処理が適切に行われているか 3)メモリリークが発生しないか 4)防衛的プログラミング	5 ソースコードのレビュー計画について、レビュー体制(レビュー者のスキルを含む)、レビュースケジュール及び頻度、レビュー観点が明確になっている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.6.5	品質評価のための指標・基準が提示されているか。それらの内容は適切か。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 社内規準などに基づいた具体的な提示され、基準、目標値等が設定されている。	5 品質評価指標についての考え方が記載されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
	4.6.6	テスト方針、検証方法・指標、目標値に関して効果的かつ効率的な提案がなされている。目指すべき機能、性能等に対して、正しい目標値が設定されている。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 提案内容は、効果的かつ効率的である。	5 テスト方針、検証方法・指標、目標値に関して具体的な提案がなされている。目指すべき機能、性能等に対して、正しい目標値が設定されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10
4.7 セキュリティ計画											
	4.7.1	サプライチェーン・リスクに関し、想定される脅威について的確に認識し、取り得るべき対策を講じていること。例えば、当該システムに関して、想定されるサプライチェーン・リスク及びそれに対する軽減策についての説明がされている。想定されるサプライチェーン・リスクに鑑み、当該システムで使用される機器を選定した理由に関する説明がされている。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	4.7.2	業務の重要性等を理解した上で、サプライチェーン・リスクを勘案していること。例えば、当該システムで行う業務等の重要性に鑑み、サプライチェーン・リスクに対する軽減策についての説明がされている。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	4.7.3	サプライチェーン・リスクを考慮した開発環境を整備していること。例えば、調達機関の意図しない変更や機密情報の窃取等が行われないことを保証するための管理手順や品質保証体制を証明する説明がされている。当該システムに調達機関の意図しない変更が行われるなどの不正が見つかったときに、追跡調査等を実施する手順及び体制が説明されている。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	4.7.4	政府機関や国民が安心してシステム構築・運用等を任せられる実績や評価を有していること。例えば、各種認証取得に関する説明がされている。日本政府機関における類似のシステム構築・運用実績の説明がされている。	遵守			合格 遵守確認欄が「○」の場合				不合格 遵守確認欄が「×」の場合	0
	4.7.5	実施体制における情報セキュリティ対策として、関連ドキュメントのアクセス管理、コーディング規約の制定などがなされているとともに、それらの効率的運用のための方策が計画されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。 それらの効率的運用のための方策が計画されている。	5 関連ドキュメントのアクセス管理、コーディング規約の制定などがなされている。	1 左記Bの基準を満たしていない。		不合格	10

提案書の目次			評価項目	評価区分	提案書 ページ番号	遵守 確認欄	A	B	C	D
大項目	中項目	小項目								
		4.7.6	ソフトウェアの設計にあたり、その情報セキュリティに関する妥当性を確認するための設計レビューの範囲及び方法について、具体的に提案されているか。	必須			10 右記Bの基準を満たしている。他のレビューから独立した計画となっており、それらの効率的運用のための方策が計画されている。	5 情報セキュリティに関連する機能・性能等に関するレビューの計画について、その範囲及び方法が具体的に記載されている。	1 左記Bの基準を満たしていない。	不合格

配点
10
268

配点構成

評価基準に照らして評価し、加点する。(満点:268点)
 評価: A評価: 10点、B評価: 5点、C評価: 1点、D評価: 不合格

認定等の区分	項目別得点	
女性活躍推進法に基づく認定 (えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)	プラチナえるぼし	8
	えるぼし3段階目	7
	えるぼし2段階目	6
	えるぼし1段階目	3
	行動計画策定	2
次世代法に基づく認定(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)	プラチナくるみん認定企業	8
	くるみん(令和4年4月1日以降の基準)	6
	くるみん(平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準)	6
	トライくるみん	6
	くるみん(平成29年3月31日までの基準)	3
若者雇用促進法に基づく認定 (ユースエール認定企業)	7	